

事業計画・収支予算書

公益財団法人浜松市花みどり振興財団
令和3年度

目 次

	頁
1 令和3年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 令和3年度収支予算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
3 資金調達及び設備投資の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・	7

令和3年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業計画

1 運営の基本方針

公益財団法人浜松市花みどり振興財団は、はままつフラワーパークの管理運営を通して、来園者に圧倒的な美しさによる「感動」と「安らぎ」を与えるとともに、「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として、魅力あふれる空間づくりを進めてまいります。

本年度は5ヶ年に亘る第3期指定管理期間の初年度でもあり、これまでの第1期及び第2期指定管理期間（平成25～令和2年度の8年間）で培った集客実績と管理ノウハウを礎に更なる飛躍を遂げるため、今般の指定管理公募において当財団で策定・提案した新たな企画の着実かつ効果的な事業展開をスタッフ一丸となって取り組み、花の聖地としてのトップブランド化を図ってまいります。

花みどりを通じた園芸文化の普及においては、毎年当園を核として開催している「浜名湖花フェスタ」での目玉展示である、1,300本の桜と50万球のチューリップの競演「世界一美しい桜とチューリップの庭園」のさらなる充実はもとより、「虹のフジのトンネル」をはじめとしたフジの庭園が新たな観光名所として着実に地域に根付き、「桜舞い、藤香る美しき庭園」としてさらに風格を増した園となるよう、「さらに美しく成長しつづける園」の具現化を加速いたします。

また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響でやむなく開催を延期した「わらアート」等の多彩なイベントを再度企画・実施することで、公益財団としての使命でもある市民の情操涵養と生きがいに積極的に貢献し、大きな成果を上げられるよう努めてまいります。

一方で経年による施設・設備等の老朽化が進行しているため、不具合箇所の解消に引き続き努めるとともに、UD対応スロープカー（昇降機）や噴水装置を活用するなど、集客効果と来園者満足度を一層高める取り組みを強化いたします。

併せて、当財団の設立目的である花みどりの普及や情操教育の場の提供として、学生の職場研修や学校出張講座のほか、園内に開設されている適応指導教室「くろーばー」での教育振興事業に協力し、園芸福祉活動拠点としての取り組みも行います。

今後も花とみどりに満ちた快適な市民生活の実現のために、「高度な園芸技術」「施設機能や特性に精通」「観光関係者との信頼関係」などの当財団の持つ強みを活かしつつ、新規の園芸文化普及事業にも積極的に挑戦し、地域の信頼と期待に応え得る円滑な法人運営に努めてまいります。

2 事業内容

【公益目的事業】

「花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業」

- (1) 花き類の栽培技術の指導、花の優良種苗の生産及び配布業務
 - ＜当地の自然環境や栽培要件に適合した種苗の生産及び配布＞
 - ア キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定
 - イ キクのオリジナル品種の育成及び配布
 - ウ 浜松 PC ガーベラ部会より依頼された実生苗の生産・育成

- (2) 園芸文化の普及、情操教育の推進業務
 - ＜生活の質の向上や生きがいくくりとしての生涯学習活動の推進＞
 - ア 市民からの日常的な園芸相談の実施
 - イ 「塚本こなみ園芸教室」はじめ、各種園芸教室の開催
 - ウ 教育関係者及び児童生徒等研修生の職場体験の受入
 - エ 小中学校の総合学習との連携及び学校出張講座等「花育」の推進
 - オ 園内ガイド、園芸作業ボランティアの積極的な受入
 - カ 学生ボランティアの参加受入により健全な青少年の育成を行う「心根（こころね）」教育の推進
 - キ 自然体験教室等の開催による教育文化事業の普及と情操教育の涵養推進
 - ク 市教育委員会と連携した「適応指導教室」の運用による児童への教育支援
 - ケ 「健康増進パーク」として市民の健康づくりを実践する事業の実施
(トレッキングコース活用によるウォーキング利用者の来園促進)
 - コ 地元大学と連携し、園の新たな利活用についての研究発表や植物に関連した体験教室の随時開催による園芸文化普及事業の拡大
 - サ **新規**通常の園芸教室を発展させ、専門性の高い講師を招き自然分野に造詣の深い人材育成を目指す「(仮称) フラワーパークアカデミー」の開講準備

- (3) 花みどりを基軸とした地域経済・産業の活性化関連業務
 - ＜市民福祉の増進と浜名湖周辺地域の振興＞
 - ア 障がいのある人や高齢者、社会参画が困難な方々への園芸作業を通した園芸福祉事業の実施
 - イ 観光圏振興の取り組みとして、民間主導の実行委員会形式による「浜名湖花フェスタ」への参画と館山寺温泉観光協会等関係団体との協力連携
 - ウ 周辺観光関連事業者や地域観光施設と連携した営業・誘客活動の推進
 - エ 「浜松市花と緑の祭」等各種市民緑花ふれあい事業への参画

- オ 国交省「ガーデンツーリズム計画」に基づく当園等周辺観光7施設との庭園観光の中心地形成と滞在型観光地域づくりへの積極的参画
- カ フラダンスの聖地としてイベントの定期開催をはじめ、花みどりと文化芸術事業の連携と市民交流人口の拡大
- キ 東アジア諸国を中心としたインバウンド事業での誘客促進の強化
- ク 「浜松市緑化推進センター」指定管理事業における浜松公園緑地協会との一部共同運営を通じた花みどり文化の効果的発信と入園相乗効果の創出
- ケ 市消防局や市関係機関等への園の利活用提案による市民協働事業の推進
- コ 「天浜線 花のリレープロジェクト」参画による周辺の観光振興と地域活性化の推進
- サ **新規**ポストコロナを見据え非日常的な屋外環境での企業研修・会議の場を提供する「(仮称) オープンエアオフィス」提案による令和モデルの働き方改革の可能性模索
- シ **新規**市内養蜂場とのコラボによる「はちみつプロジェクト」での「はちみつ体験教室」等の実施による教育事業への積極的な貢献

(4) 花き類の栽培展示業務

<3,000種の草花の育成管理による自然環境とのふれあいの場の提供>

- ア メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- イ 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実
- ウ 花梅園の修景及び早春ボタン展示の充実
- エ 早咲き菜の花と7万球のラップズイセン及び早咲きチューリップの展示
- オ 桜とチューリップ展示（50万球）の効果的な展示手法の提案
- カ フジ（棚及び庭木仕立て）の適切な管理と「虹のフジのトンネル」の整備充実
- キ 西洋シャクナゲ、ヘメロカリスの植栽展示等、多彩な「花のリレー」の展開
- ク 熱帯スイレンの展示
- ケ ヒガンバナ類の展示
- コ アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- サ 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示
- シ **新規**新設モザイクカルチャー作品「森の仲間たち」の装飾とその維持管理
- ス ウェルカムガーデン、スマイルガーデン等の花壇展示による癒し空間の創出
- セ 熱帯植物（サボテン類、珍しい草花類）及び球根ベゴニアの育成管理
- ソ 国内植物園で初めて開花させたヨルダン国花「ブラックアイリス」の育成管理
- タ 一部改良したローズガーデンの適切な肥培管理による新たな感動の演出

(5) 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理業務

<誰もが安心して利用できる快適な癒しの空間の提供>

- ア 夜間開園の魅力度アップ（夜桜、ウインターイルミネーション等）
- イ 園内移動車両3編成（56人乗り車椅子2台収容可/57人乗り車椅子2台収容可/53人乗り車椅子2台収容可）稼働による入園者サービスや利便性の向上
- ウ 作業研修、体験学習の場となる育苗・栽培圃場の肥培管理と施設維持
- エ 大温室クリスタルパレスの管理運営及び温室内ガーデンシアターでの企画展の開催
- オ 「花みどり館」での体験学習機能の強化充実による集客機能の向上
（技術職員による体験教室の拡大や園の特性に合ったプログラムの実施）
- カ 芝の常緑エリア拡大（オーバーシード）と美しい庭園空間の創出
- キ 「フジ&スマイルガーデンライトアップ」開催による新たな集客要素の演出
- ク マスコットキャラクター「ふらまる」を活用した広報活動の推進と新たな顧客層の開拓
- ケ **新規**臨場感と機能性に優れ、「見やすく、わかりやすく、使いやすい」時代にマッチした公式ホームページのリニューアル

(6) 館山寺総合公園の指定管理業務

<浜松市における園芸・教育文化の象徴的施設としての効率的な管理運営の推進>

- ア 花の図書館「はままつフラワーパーク」と隣接する「浜松市動物園」が連携した「館山寺総合公園」の適正かつ効率的な管理運営
- イ 動物園と連携したイベントの開催と誘客増の取り組み
（ナイトズー等における弾力的な連携とイベント相互告知の効果的实施等）
- ウ 市と連携してのソフト・ハード両面に亘る計画的な整備の推進
（集客効果が高く、経営安定化にも資する施設の適切な保守）

(7) 「浜名湖花フェスタ」の定着化

- ア 「浜名湖花フェスタ」の充実と花みどり文化の一大発信拠点としての園の定着
- イ 「浜名湖＝花の観光地」の相乗効果演出と当地域への誘客力強化
- ウ 集客力強化のため市と連携しての「インバウンド事業」への取り組みによる台湾、東南アジア等からの誘客促進

【収益目的事業】

「売店・レストラン・遊具・自動販売機売上等に関する事業」

- (1) 園内の売店・レストラン（カフェ含む）・遊具・自動販売機の活用による入園者の利便性の向上及び販売等に関する業務
＜快適な便益施設及び更に魅力的なアメニティゾーンの形成＞
 - ア 直営ショップ、レストランでのクレジットカード決済機能の活用による利便性の向上と売上の強化
 - イ 斬新な創作メニューの提供及びオリジナル名物メニューの開発・充実
（導入例：クレミアソフト、野菜カレー、地元産しらす入遠州双子丼等）
 - ウ **新規**花みどり館カフェに流行に合わせたスイーツカフェの展開及びフォトジェニックなメニュー提供による売上増に貢献する取り組みの強化
 - エ こども広場を中心とした安全で快適なアメニティゾーンの形成

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

＜CS（顧客満足）を意識した愛される園づくりの推進＞

施設やサービスなど多様な満足度の指標を設定し、部門別に評点化することで、従来の運営方法から一歩進めたCS（顧客満足）を展開するとともに、5S委員会での取り組み等により顧客満足度を的確に把握し、お客様の声を運営に反映させ、入園者の増を図ります。

- (1) アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられた意見等を集約し、改善すべき事項をマニュアル化することで、改善に結びつけます。
- (2) アンケートで毎月数値化される「顧客満足度」の向上を図ります。
（令和3年度目標満足度値 4.6点 平成27～令和元年度平均値 4.5点/5点満点）
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大を防止し、安心安全な園運営の推進と、今後の状況に応じた営業戦略の柔軟な見直し及び適切な経費節減を図ります。
（状況により、来場者及び職員への影響が懸念される場合は事業内容・計画等を変更する可能性があります。）

1 令和3年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	12	12	0
イ 事業収益	427,419	459,239	△ 31,820
入園料収益	210,432	216,657	△ 6,225
レストラン売上収益	48,377	52,172	△ 3,795
売店売上収益	89,213	101,260	△ 12,047
駐車場使用料収益	42,394	49,350	△ 6,956
園内移動車両使用料収益	9,212	11,600	△ 2,388
施設使用料収益	13,395	16,250	△ 2,855
その他使用料収益	10,246	7,800	2,446
受取雑収入	4,150	4,150	0
ウ 受託料	6,300	10,000	△ 3,700
エ 受取指定管理料	136,200	113,303	22,897
オ 受取利息	15	15	0
経常収益計	569,946	582,569	△ 12,623
(2) 経常費用			
ア 事業費	546,591	522,495	24,096
報酬	5,750	5,750	0
給料	77,262	77,953	△ 691
職員手当	33,099	33,110	△ 11
法定福利費	16,554	16,659	△ 105
退職給付費用	41,952	7,000	34,952
賃金	102,000	102,000	0
旅費交通費	400	400	0
報償費	11,062	11,062	0
燃料費	10,000	10,000	0
光熱水費	19,335	22,335	△ 3,000
備用品費	15,364	15,473	△ 109
印刷製本費	1,842	1,842	0
通信運搬費	1,130	1,130	0
広告宣伝費	18,330	22,030	△ 3,700

科 目	予算額	前年度予算額	増減
手数料	10,055	10,055	0
交際費	30	30	0
会議費	700	700	0
厚生福利費	171	171	0
負担金	460	460	0
被服費	300	300	0
賃借料	1,775	1,775	0
雑費	30	30	0
委託費	35,740	35,535	205
修繕費	11,372	8,245	3,127
保険料	1,261	1,261	0
原材料費	5,946	4,909	1,037
肥料農薬費	3,855	3,922	△ 67
種苗費	39,490	37,982	1,508
園内装飾資材費	3,300	3,000	300
売店材料費	57,712	65,319	△ 7,607
食材費	19,351	21,094	△ 1,743
棚卸減耗費	100	100	0
減価償却費	863	863	0
イ 管理費	58,307	60,074	△ 1,767
報酬	5,750	5,750	0
給料	14,074	13,893	181
職員手当	6,731	6,656	75
法定福利費	4,812	4,774	38
備用品費	30	30	0
通信運搬費	120	120	0
手数料	150	150	0
厚生福利費	140	140	0
負担金	400	400	0
委託費	1,800	1,800	0
公課費	300	300	0
消費税	24,000	26,061	△ 2,061
経常費用計	604,898	582,569	22,329
当期経常増減額	△ 34,952	0	△ 34,952

科 目	予算額	前年度予算額	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金取崩	34,952	0	34,952
経常外収益計	34,952	0	34,952
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	34,952	0	34,952
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	180,035	199,318	△ 19,283
一般正味財産期末残高	180,035	199,318	△ 19,283
II 指定正味財産増減の部			
1 (1) 受取補助金等			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III 正味財産期末残高	235,035	254,318	△ 19,283

収支予算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
ア 基本財産運用益	12	0	0	12
イ 事業収益	271,334	156,085	0	427,419
ウ 受託料	6,300	0	0	6,300
エ 受取指定管理料	101,173	0	35,027	136,200
オ 受取利息	15	0	0	15
経常収益計	378,834	156,085	35,027	569,946
(2) 経常費用				
ア 事業費	413,723	132,868	0	546,591
イ 管理費	16,080	7,200	35,027	58,307
経常費用計	429,803	140,068	35,027	604,898
当期経常増減額	△ 50,969	16,017	0	△ 34,952
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給付引当金取崩	34,952	0	0	34,952
経常外収益計	34,952	0	0	34,952
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	34,952	0	0	34,952
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 16,017	16,017	0	0
他会計振替額	3,704	△ 3,704	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 12,313	12,313	0	0
一般正味財産期首残高	45,591	134,444	0	180,035
一般正味財産期末残高	33,278	146,757	0	180,035
II 指定正味財産増減の部				
1 (1) 受取補助金等				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	0	0	55,000
指定正味財産期末残高	55,000	0	0	55,000
III 正味財産期末残高	88,278	146,757	0	235,035

【資金調達及び設備投資の見込みについて】

令和3年4月1日～令和4年3月31日

■資金調達の見込みについて

当期中における借入の予定はありません。

■設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除去または売却を含む。)の予定はありません。